

「最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出額6ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2019.6.20

2019年4月の機械輸出額は4兆2,714億円、対前年同月比3.6%減と、6ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①北米向け以外の5地域向けで減少したこと、②航空機部品をはじめ21業種中6輸出業種のみが増加したことなどによる。為替・営業日要因が2.0%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は5.5%減となった。2019年5月の為替・営業日要因は9.0%の減少寄与要因となっているが、6月19日発表の貿易統計速報による簡易計算では、5月の機械輸出は7.2%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆6,589億円(前年同月比 [以下同じ] 2.4%減、5ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆6,021億円(6.5%増、2ヶ月連続増加)
- ③ 貿易収支:568億円の黒字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆2,714億円(3.6%減、6ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的な伸び率:5.5%減(6ヶ月連続減少)
- ② 機械輸入額:2兆172億円(7.3%増、2ヶ月連続増加)

(2) 為替・営業日動向

2019年4月に2.0%の増加要因、5月に9.0%の減少要因、6月に5.8%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 北米向け以外の5地域向けが前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:6.3%増、2ヶ月連続増加(図表4、5)
- ③ 中国向け:9.8%減、2ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:0.7%減、4ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:2.3%減、再び減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:5.6%減、15ヶ月連続減少(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:12.9%減、5ヶ月連続減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中6業種が増加。そのうち航空機部品が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 航空機部品(北米向け中心)、TV(北米、EU、中国向け中心、7か月連続上位)等が大きく増加
- ② 発電機、通信機械部分品、原動力機械等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、9機種が増加
- ② そのうち6機種が二桁の増加

II トピックス

1. 【韓国】経済成長率が減少。企業の業績も悪化

韓国の2019年第1四半期（1～3月期）の経済成長率は前期比0.3%減と5四半期ぶりに減少した。米中貿易摩擦のあおりを受けて、主力の輸出が大幅減となり、企業の設備投資も落ち込んでいる。世界景気の先行指標とされる韓国経済の低迷は、世界経済の減速を裏付けるものとなった。

最大の懸念はGDPの4割強を占める輸出の落ち込みだ。特にIT関連の落ち込みが激しく、第1四半期では半導体輸出が前年同期比22%減、スマホも28%減となった。また、3月の輸出額は前年同月比8%減で4カ月連続の減少。これにより経常収支は112億5,000万ドルの黒字と低水準だった。

さらに5月には、華為技術への事実上の輸出禁止措置が実施され、米中貿易摩擦は新たな段階に入った。華為の主要サプライヤーであるサムスンやSKハイニクスは、株価を大きく下げている（ただしサムスン電子のスマホの販売には追い風になるとの見方もある）。今後米国はハイクビジョン（監視カメラ）、DIJ（ドローン）などの中国メーカーにも禁輸措置を適用する可能性があり、事態の進展を注視する必要がある。

韓国の企業業績も大幅に悪化しており、通貨ウォンも下落傾向にある。韓国政府は、財政支出の拡大で景気を下支えする計画だが、効果が出るまで時間がかかるとみられる。

2. 【台湾】TSMCの業績が大幅に悪化。ファウエイ問題も打撃に

半導体受託生産の世界最大手、台湾積体回路製造（TSMC）の2019年第1四半期（1～3月期）の純利益は前年同期比32%減の613億台湾（NT）ドルだった。売上高は12%減の2,187億NTドルとなった。スマホ市場の減速が大きく響いた。

米国商務省は5月、ファウエイを安全保障上の懸念がある企業を列挙した「エンティティ・リスト（Entity List）」に加え、米国企業からの部品納入を禁止した。TSMCの売上高のうち1割弱をファウエイ向けが占める。同社は米の禁輸措置に該当しないとして、ファウエイとの取引を継続する意向だ。

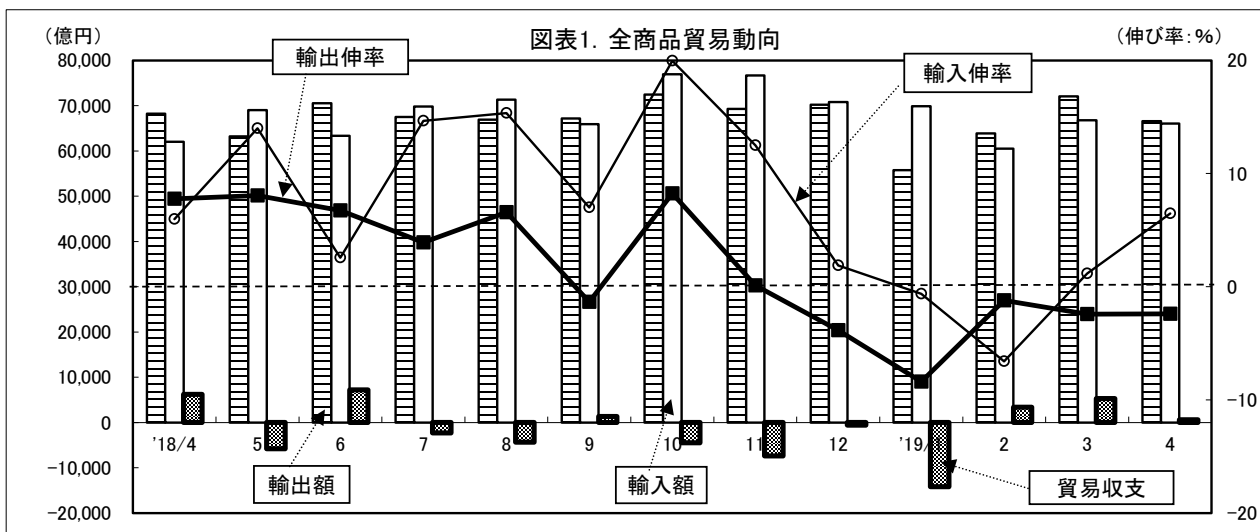
米中間の緊張がさらに悪化すればTSMCの最大顧客である米アップルも今後影響を受ける可能性もある。TSMCは2019年後半の業績回復を予測していたが、現在の不透明な状況では達成困難との見方が広がりつつある（TSMCの株価は大幅に下落している）。

一方、半導体の微細化競争は続いており、2019年も100億ドル規模の設備投資を実施する構えだ。TSMCは3月に回路線幅5ナノの半導体の試験生産を開始しており、2020年後半には量産を開始する。一方、ライバル、韓国サムスンの5ナノ品の量産開始も2020年になる予定である。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は5ヶ月連続で減少、輸入は2ヶ月連続で増加～

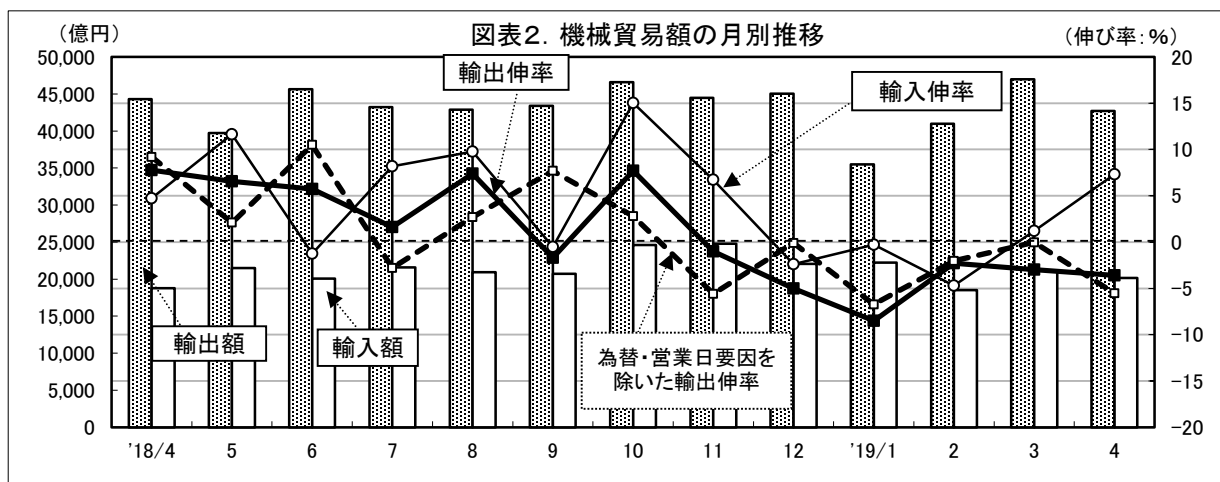
- 2019年4月の全商品輸出額は**6兆6,589億円**、前年同月比(以下同じ)**2.4%減**と5ヶ月連続で減少した(3月2.4%減)。これは、約12%を占めるプラスチック等化学製品(9.1%増)が増加したものの、約24%を占める輸送用機器(2.8%減)をはじめ、約20%の一般機械(4.1%減)、電気機器(4.6%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**6兆6,021億円**、**6.5%増**と2ヶ月連続で増加した(3月1.2%増)。これは、全輸入額の約22%を占める原油等鉱物性燃料(7.0%増)をはじめ、電気機器(6.7%増)、医薬品等化学製品(1.5%増)、一般機械(6.2%増)等が増加したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約568億円と3ヶ月連続の黒字(3月は5,278億円の黒字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は6ヶ月連続減少、輸入は2ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める4月の機械輸出額は**4兆2,714億円**、**3.6%減**と6ヶ月連続で減少し(3月3.0%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年4月)と比べると**90.9%**となっており、前月に比べて1.5ポイント改善した(3月89.4%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は5.5%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**2兆172億円**、**7.3%増**と2ヶ月連続で増加し(3月1.2%増)、リーマンショック前(2008年4月)の水準に比べ、32.9%増となっている。

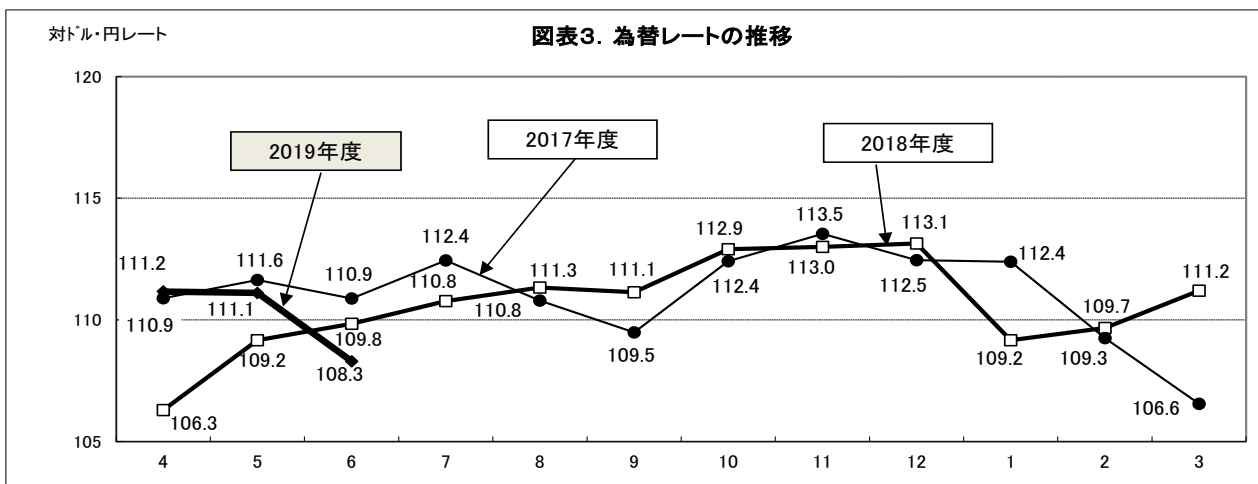


(2) 為替・営業日動向～4月は2.0%の増加要因、5月は9.0%の減少要因～

1) 2019年4月は1ドル=111.2円となり、前年に比べ4.6%の円安となった。また、対ユーロは125.3円と前年に対して4.3%の円高となり、合わせて約2.0%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約2.0%の増加要因であったことから、実質的伸び率は5.5%減と6ヶ月連続の前年同月比減少となった(3月0.1%減)。

2) 2019年5月は1ドル=111.1円で前年比1.8%の円安、対ユーロは124.6円で前年比5.3%の円高となり、合わせて約0.6%の為替増加要因となった。営業日は前年に比べて2日少ないため、約9.5%の減少要因となり、合計で約9.0%の減少要因となる。

3) 2019年6月は、対ドルが6月19日17:00時点の108.3円とすれば、1.4%の円高、また、対ユーロは121.4円で5.7%の円高となり、合わせて約1.1%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.8%の減少要因となり、合計で約5.8%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～北米向け以外の5地域向けが減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の27.5%を占める北米向けでは、約51%を占める自動車(3.0%増)をはじめ、産業機械(16.6%増)、航空機部品(36.0%増)、建設機械(11.6%増)等が増加し、6.3%増となった。②20.7%を占める中国向けでは、自動車(1.4%増)、軽電気機械(7.2%増)等が増加したものの、産業機械(20.9%減)、電子デバイス(4.5%減)等が減少して9.8%減となり、③15.1%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(10.8%増)が二桁増となったものの、パキスタン(44.9%減)が大きく減少し、業種では、産業機械(5.3%増)、船舶(3.0倍)等が増加したものの、自動車(15.5%減)、電子デバイス(4.9%減)等が減少して0.7%減となった。④13.1%を占めるEU向けは、約37%を占める自動車(1.3%増)、理化学用機器等軽機械(11.1%増)等が増加したものの、産業機械(1.4%減)、軽電気機械(6.5%減)等が減少して2.3%減となり、⑤9.2%を占める韓国・台湾向けは、自動車(10.2%増)が増加したものの、産業機械(5.6%減)、電子デバイス(6.8%減)等が減少して5.6%減となった。⑥14.5%のその他地域向けでは、アフリカ(14.9%増)等向けが増加したものの、中近東(18.4%減)、中南米(15.2%減)、大洋州(15.2%減)向け等が減少し、機種では、自動車(7.9%減)、船舶(32.3%減)、産業機械(22.6%減)等が減少して12.9%減となった。

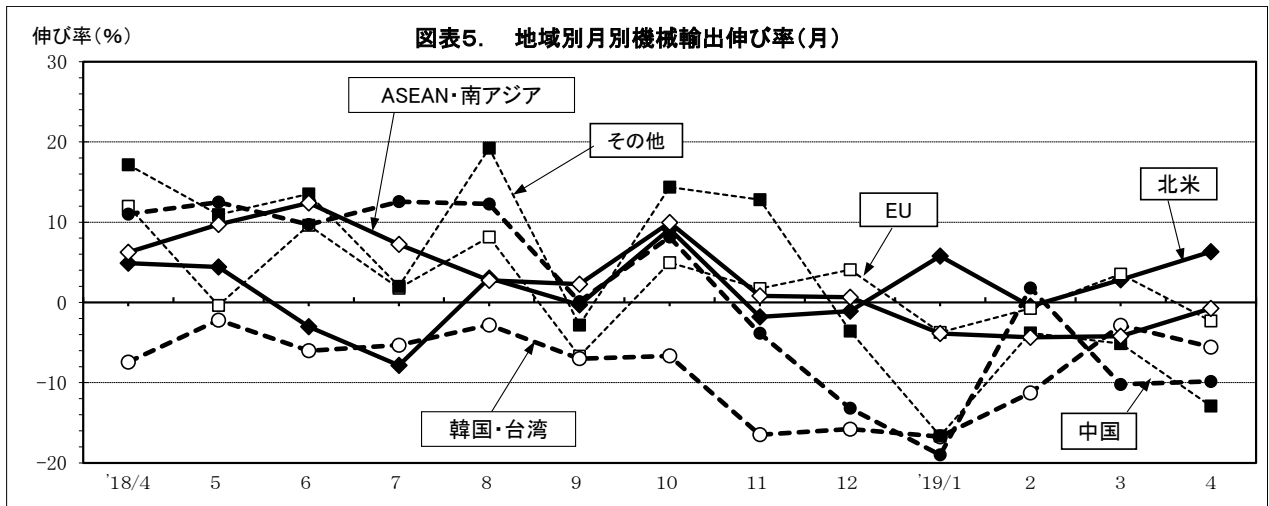
2) また、リーマンショック前の2008年4月の地域別輸出額と比較すると、北米、中国、ASEAN・南アジア向けが100%を超え、韓国・台湾向けが80%台、EU向けが70%台、その他地域向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2019/2			2019/3			2019/4			対08年 4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	40,964	▲ 2.3	100.0	46,967	▲ 3.0	100.0	42,714	▲ 3.6	100.0	0.91
北米	10,882	▲ 0.5	26.6	11,777	2.8	25.1	11,734	6.3	27.5	1.10
中国	8,120	1.8	19.8	9,605	▲ 10.2	20.5	8,832	▲ 9.8	20.7	1.04
ASEAN・南アジア	5,897	▲ 4.3	14.4	7,038	▲ 4.2	15.0	6,434	▲ 0.7	15.1	1.03
EU	5,568	▲ 0.8	13.6	5,965	3.5	12.7	5,615	▲ 2.3	13.1	0.72
韓国・台湾	3,756	▲ 11.3	9.2	4,723	▲ 2.8	10.1	3,921	▲ 5.6	9.2	0.84
その他	6,742	▲ 3.8	16.5	7,859	▲ 5.1	16.7	6,178	▲ 12.9	14.5	0.68

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

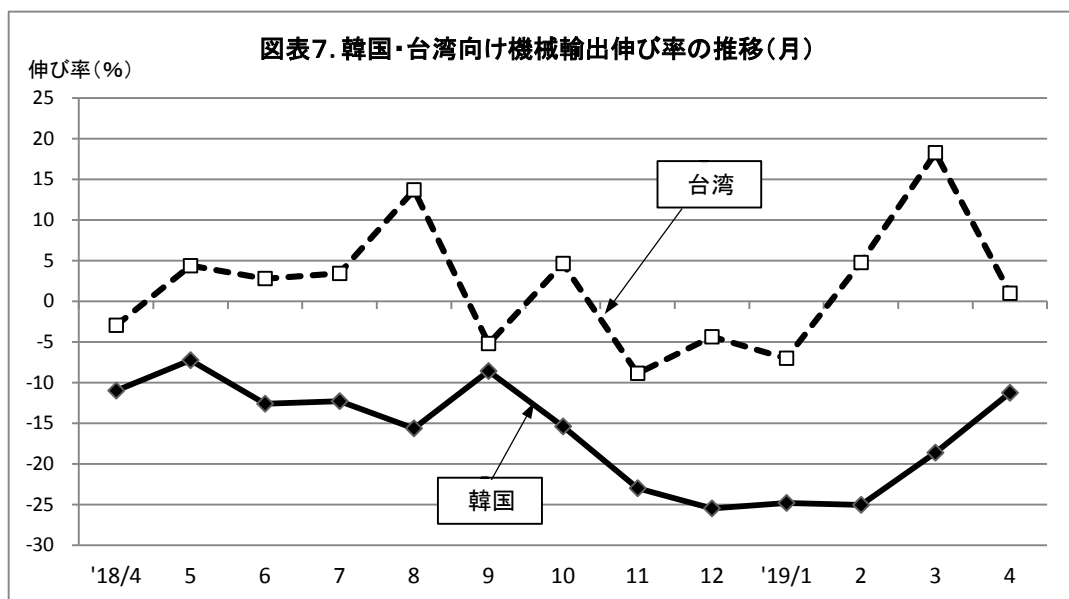


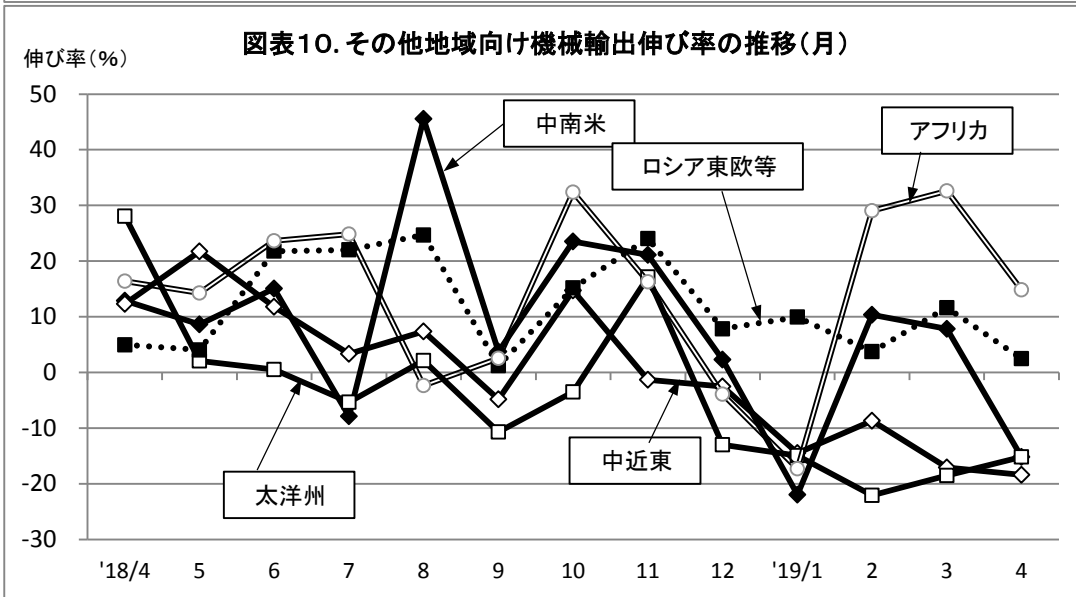
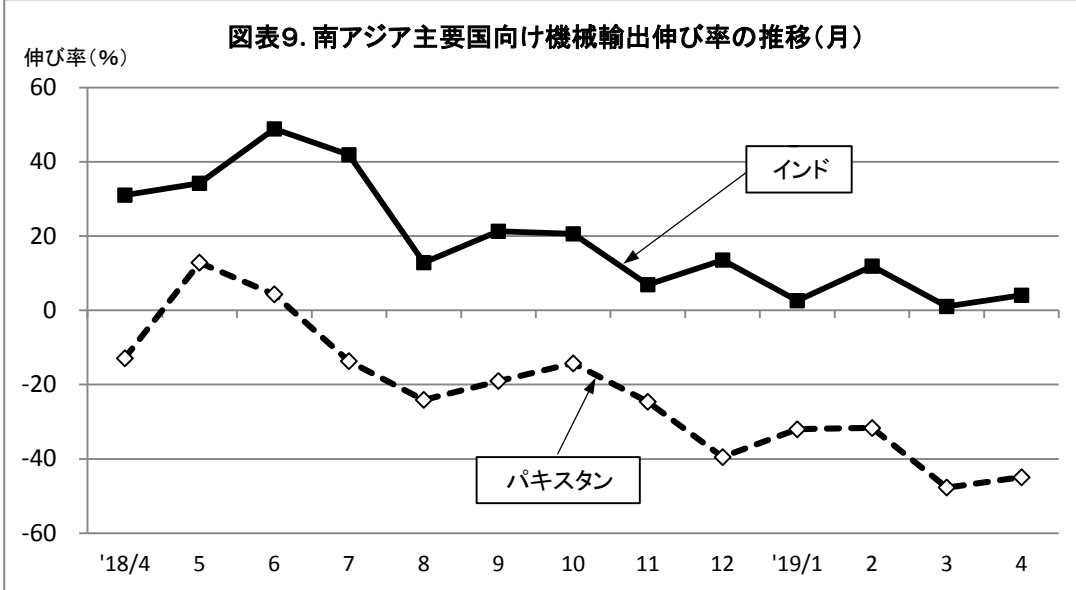
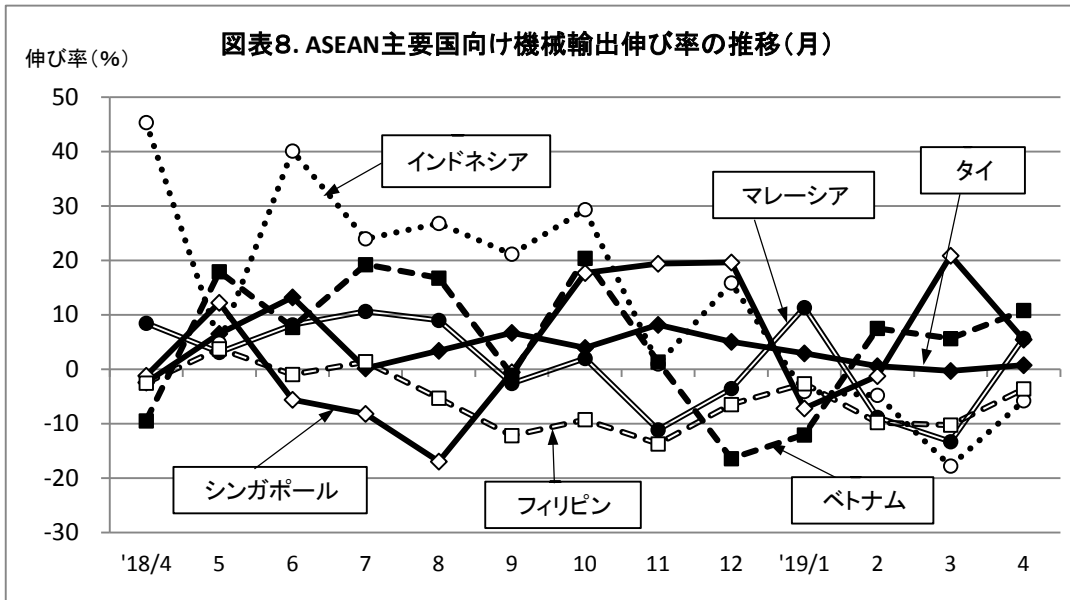
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2019/1		2019/2		2019/3		2019/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,665	▲ 24.8	1,707	▲ 25.0	2,264	▲ 18.6	1,976	▲ 11.2
台湾	1,709	▲ 7.0	2,049	4.8	2,459	18.3	1,945	1.0
ASEAN・南アジア								
タイ	1,376	2.9	1,590	0.6	1,779	▲ 0.3	1,585	0.8
シンガポール	970	▲ 7.2	902	▲ 1.2	1,363	20.9	1,054	5.4
インドネシア	709	▲ 4.1	781	▲ 4.8	820	▲ 17.8	919	▲ 5.8
マレーシア	620	11.4	619	▲ 8.8	695	▲ 13.3	712	5.7
フィリピン	506	▲ 2.6	572	▲ 9.8	627	▲ 10.2	635	▲ 3.6
ベトナム	579	▲ 12.0	639	7.5	773	5.7	708	10.8
インド	444	2.6	554	11.9	677	1.0	519	4.1
パキスタン	67	▲ 32.0	74	▲ 31.7	92	▲ 47.7	90	▲ 44.9
その他地域								
中南米	1,770	▲ 21.9	2,363	10.4	2,506	7.8	1,835	▲ 15.2
中近東	1,323	▲ 14.5	1,604	▲ 8.7	1,902	▲ 17.1	1,287	▲ 18.4
大洋州	970	▲ 14.9	1,053	▲ 22.1	1,356	▲ 18.5	1,306	▲ 15.2
ロシア東欧等	1,099	9.9	1,305	3.7	1,396	11.7	1,268	2.5
アフリカ	523	▲ 17.3	597	29.0	844	32.6	599	14.9

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中6業種が増加。うち航空機部品が二桁の増加～

- 1)業種別では、軽機械(3.6%増)、民生用電子機械(2.6%増)、航空機部品(27.2%増)、陸用内燃機関(5.1%増)、医療機械(4.8%増)、農業機械(9.4%増)の6業種が増加し、前月に比べて2業種増加した。そのうち、航空機部品が二桁の伸びとなったものの、機械全体では3.6%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、軽機械、医療機械、ベアリング、鉄道車両、陸用内燃機関、産業機械、重電気機械の8業種となった(3月も8業種)。他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械、産業車両の2業種が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

2019/2				2019/3				2019/4				対08/4 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	14,900	▲ 5.5	36.4	自動車	16,106	▲ 2.3	34.3	自動車	15,458	▲ 2.1	36.2	0.93
産業機械	7,697	▲ 1.5	18.8	産業機械	8,862	▲ 7.6	18.9	産業機械	7,730	▲ 5.9	18.1	1.05
電子デバイス	2,649	▲ 10.4	6.5	電子デバイス	3,162	▲ 7.8	6.7	電子デバイス	3,186	▲ 5.5	7.5	0.84
軽電気機械	2,114	▲ 5.7	5.2	軽電気機械	2,543	▲ 4.7	5.4	軽電気機械	2,374	▲ 3.7	5.6	0.94
重電気機械	1,891	▲ 0.3	4.6	船舶	2,425	45.5	5.2	重電気機械	2,054	▲ 6.3	4.8	1.01
船舶	1,700	54.7	4.1	重電気機械	2,284	▲ 3.0	4.9	軽機械	1,772	3.6	4.1	1.29
軽機械	1,633	3.7	4.0	軽機械	1,875	▲ 1.6	4.0	民生用電子機械	1,406	2.6	3.3	0.43
建設機械	1,288	1.5	3.1	建設機械	1,584	4.6	3.4	建設機械	1,394	▲ 2.1	3.3	0.93
民生用電子機械	1,277	1.5	3.1	民生用電子機械	1,448	▲ 1.3	3.1	船舶	1,358	▲ 15.5	3.2	0.76
光学機械	945	▲ 15.5	2.3	光学機械	1,119	▲ 18.8	2.4	光学機械	1,101	▲ 6.7	2.6	0.90
工作機械	780	▲ 7.3	1.9	工作機械	956	▲ 18.7	2.0	航空機部品	801	27.2	1.9	2.14
航空機部品	762	▲ 13.3	1.9	航空機部品	838	12.4	1.8	工作機械	723	▲ 12.9	1.7	0.93
医療機械	484	▲ 2.7	1.2	医療機械	568	▲ 1.7	1.2	陸用内燃機関	466	5.1	1.1	1.07
陸用内燃機関	456	16.0	1.1	通信機械	514	▲ 14.0	1.1	通信機械	459	▲ 20.0	1.1	0.55
通信機械	454	▲ 14.1	1.1	陸用内燃機関	492	▲ 2.4	1.0	医療機械	453	4.8	1.1	1.26
ベアリング	412	4.2	1.0	ベアリング	457	▲ 3.1	1.0	ベアリング	422	▲ 1.0	1.0	1.18
電子計算機	354	▲ 6.9	0.9	電子計算機	436	2.7	0.9	電子計算機	364	▲ 2.7	0.9	0.37
繊維機械	221	▲ 0.9	0.5	農業機械	224	▲ 5.2	0.5	農業機械	217	9.4	0.5	0.90
農業機械	203	▲ 2.3	0.5	繊維機械	209	▲ 22.9	0.4	繊維機械	169	▲ 15.6	0.4	0.66
産業車両	121	▲ 4.5	0.3	産業車両	130	▲ 7.3	0.3	産業車両	111	▲ 14.1	0.3	0.47
鉄道車両	70	▲ 49.9	0.2	鉄道車両	86	▲ 39.9	0.2	鉄道車両	99	▲ 22.2	0.2	1.16
21業種合計	40,411		98.6	21業種合計	46,320		98.6	21業種合計	42,116		98.6	0.91

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・重電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～航空機部品等が大幅に増加、発電機、通信機械部分品等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示したのは、①北米向け航空機部品(27.2%増)、②北米、EU、中国向けTV(20.6%増)、③中国、ASEAN・南アジア向けコンデンサー等部分品(10.0%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、発電機(49.9%減)、通信機械部分品(39.5%減)、原動力機械(33.4%減)、産業用ロボット(25.8%減)、鉄道車両(22.2%減)等であった。

図表12 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2019/2			2019/3			2019/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,700	54.7	船舶	2,425	45.5	航空機部品	801	27.2
TV	123	27.2	発電機	81	22.3	TV	114	20.6
陸用内燃機関	456	16.0	TV	141	15.3	コンデンサー等部分品	866	10.0
機種合計	2,279	* 5.6%	航空機部品	838	12.4	機種合計	1,781	* 4.2%
			機種合計	3,485	* 7.4%			

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2019/2			2019/3			2019/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	70	▲ 49.9	鉄道車両	86	▲ 39.9	発電機	61	▲ 49.9
通信機械部分品	114	▲ 43.0	通信機械部分品	135	▲ 29.2	通信機械部分品	138	▲ 39.5
産業用ロボット	145	▲ 21.4	原動力機械	491	▲ 29.1	原動力機械	321	▲ 33.4
その他の光学機器	758	▲ 17.7	産業用ロボット	152	▲ 28.9	産業用ロボット	148	▲ 25.8
写真機の部分品・附属品	97	▲ 16.4	デジカメ・ビデオ	240	▲ 27.1	鉄道車両	99	▲ 22.2
デジカメ・ビデオ	228	▲ 15.1	繊維機械	209	▲ 22.9	繊維機械	169	▲ 15.6
電池	406	▲ 13.6	受信変換その他送受信機器	128	▲ 22.0	船舶	1,358	▲ 15.5
航空機部品	762	▲ 13.3	写真機の部分品・附属品	106	▲ 20.6	半導体製造装置	1,970	▲ 15.1
磁気カード・ディスク等	111	▲ 12.2	その他の光学機器	914	▲ 19.6	産業車両	111	▲ 14.1
受信変換その他送受信機器	113	▲ 10.7	工作機械	956	▲ 18.7	電池	447	▲ 13.4
機種合計	2,804	* 6.8%	機種合計	3,417	* 7.3%	機種合計	4,822	* 11.3%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、携帯電話等が増加、電子デバイス等が減少～

- 1) 4月の機械輸入伸び率は7.3%増と2ヶ月連続で増加した。上位12機種のうち9機種が増加し、そのうち電子計算機(23.4%増)、携帯電話(13.5%増)、白物家電(11.5%増)、医療機械(12.1%増)、受信変換その他送受信機器(19.4%増)、コンデンサー等部分品(11.3%増)の6機種が二桁の増加であった。減少したのは、電子デバイス(3.9%減)、自動車部品(3.4%減)、乗用車(3.7%減)の3機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TV 通信機械部分品、発電機の11機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の40%を占める中国(8.8%増)、ASEAN・南アジア(10.4%増)、EU(6.9%増)、北米(2.0%減)、韓国・台湾(1.8%減)、その他地域(40.6%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2019/2				2019/3				2019/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,881	0.1	10.2	電子デバイス	2,225	0.0	10.5	電子計算機	2,101	23.4	10.4
電子デバイス	1,860	▲ 5.9	10.0	電子計算機	2,199	2.9	10.4	電子デバイス	2,048	▲ 3.9	10.2
携帯電話	1,329	▲ 1.1	7.2	航空機・部品等	1,516	21.8	7.2	携帯電話	1,422	13.5	7.0
航空機・部品等	1,029	24.2	5.6	自動車部品	1,122	0.2	5.3	自動車部品	1,030	▲ 3.4	5.1
自動車部品	1,011	▲ 11.1	5.5	乗用車	1,021	▲ 23.7	4.8	乗用車	969	▲ 3.7	4.8
乗用車	988	13.2	5.3	携帯電話	916	▲ 23.0	4.3	航空機・部品等	962	1.5	4.8
医療機械	713	5.5	3.9	医療機械	814	13.3	3.9	白物家電	795	11.5	3.9
白物家電	644	▲ 5.0	3.5	白物家電	751	13.0	3.6	医療機械	710	12.1	3.5
受信変換その他送受信	570	6.1	3.1	配電機器	631	13.6	3.0	配電機器	583	5.8	2.9
配電機器	525	▲ 8.3	2.8	受信変換その他送受信	608	13.8	2.9	受信変換その他送受信	533	19.4	2.6
風水力機械	337	1.8	1.8	その他の配電制御装置	388	2.3	1.8	風水力機械	364	4.0	1.8
コンデンサー等部分品	332	▲ 5.1	1.8	コンデンサー等部分品	388	13.0	1.8	コンデンサー等部分品	364	11.3	1.8
12機種合計	11,219		60.6	12機種合計	12,579		59.5	12機種合計	11,881		58.9

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等